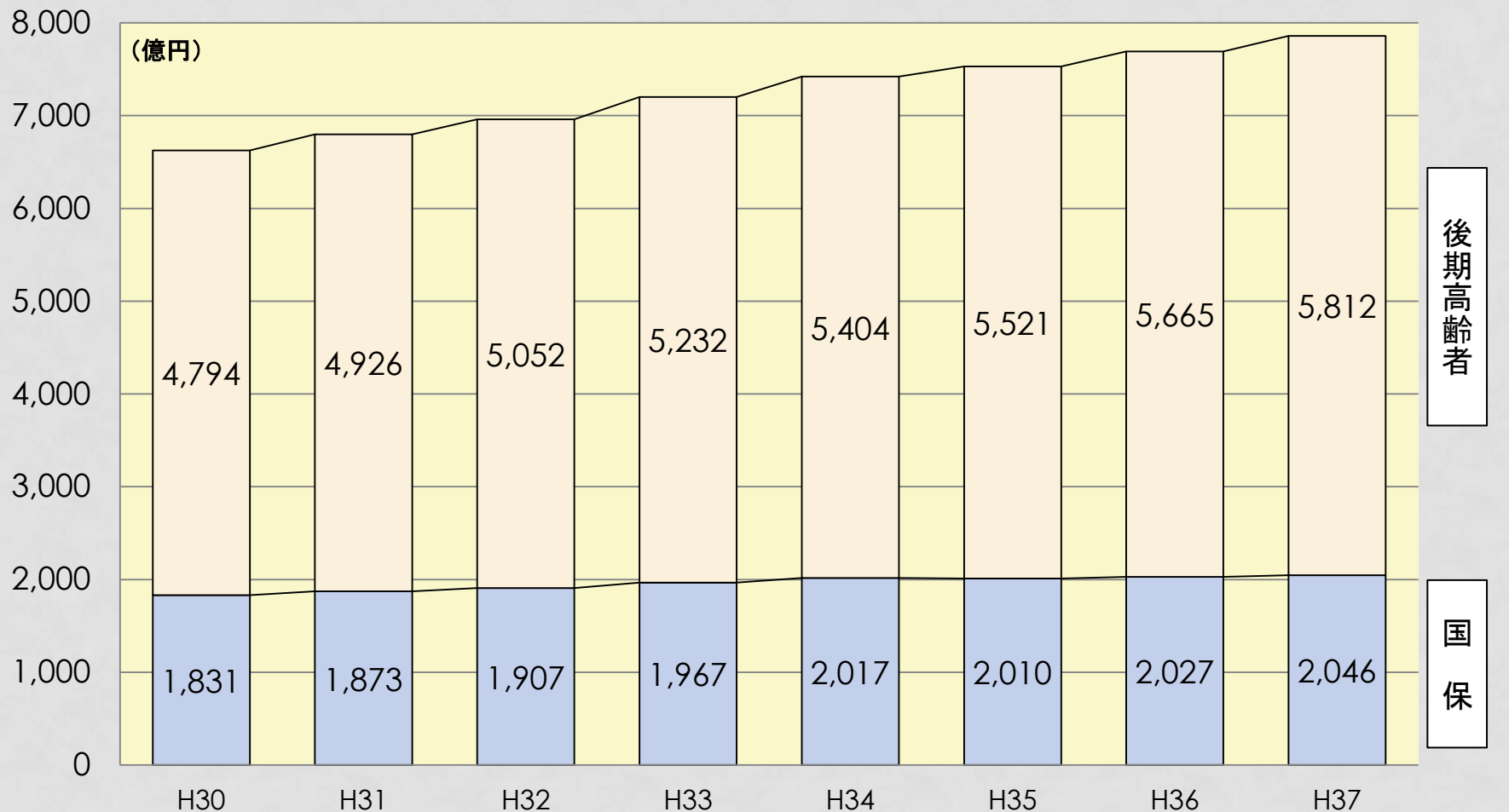


長野県医療費（国保＋後期高齢者）の見込み

医療費総額は、年々増加しています。国保医療費は、団塊の世代の方々が後期高齢者に移行する平成35年度に伸び率が減少する見込みですが、医療費総額としては**増え続ける見込み**です。

必要な医療を受けるために支出が増大することは避けられませんが、だからこそ**予防・健康づくりの取組により支出を抑える努力が重要**となります。



保険者努力支援制度

住民の方の健康づくりのための取組などをがんばっている都道府県や市町村に対して、国が交付金を交付する制度です。

下記の項目について保険者として取り組んでいたり、取組の結果、数値が向上すると、評価されます。

保険者共通の指標	国保固有の指標
特定健診・特定保健指導の実施率 メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率	保険料収納率
がん検診受診率 歯科疾患健診実施状況	データヘルス計画の実施状況
糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況	医療費通知の取組の実施状況
個人へのインセンティブの提供の実施 個人へのわかりやすい情報提供	国保の視点からの地域包括ケア推進の取組
重複服薬者に対する取組	第三者求償の取組状況
後発医薬品の促進の取組 後発医薬品の使用割合	適切かつ健全な事業運営の実施状況

○上記指標のうち、赤字部分は国保被保険者の皆様の健康づくりへの参加により、数値が向上すると評価が上がり、国からの交付金が多くなります。

○交付金が多くなると、市町村は、その交付金を保険料を抑えることやさらなる保健事業等に使うことができるため、保険料抑制につながります。

○また、健康な方が増えれば、医療費の支出が抑えられるため、結果として保険料を低く抑えることができます。

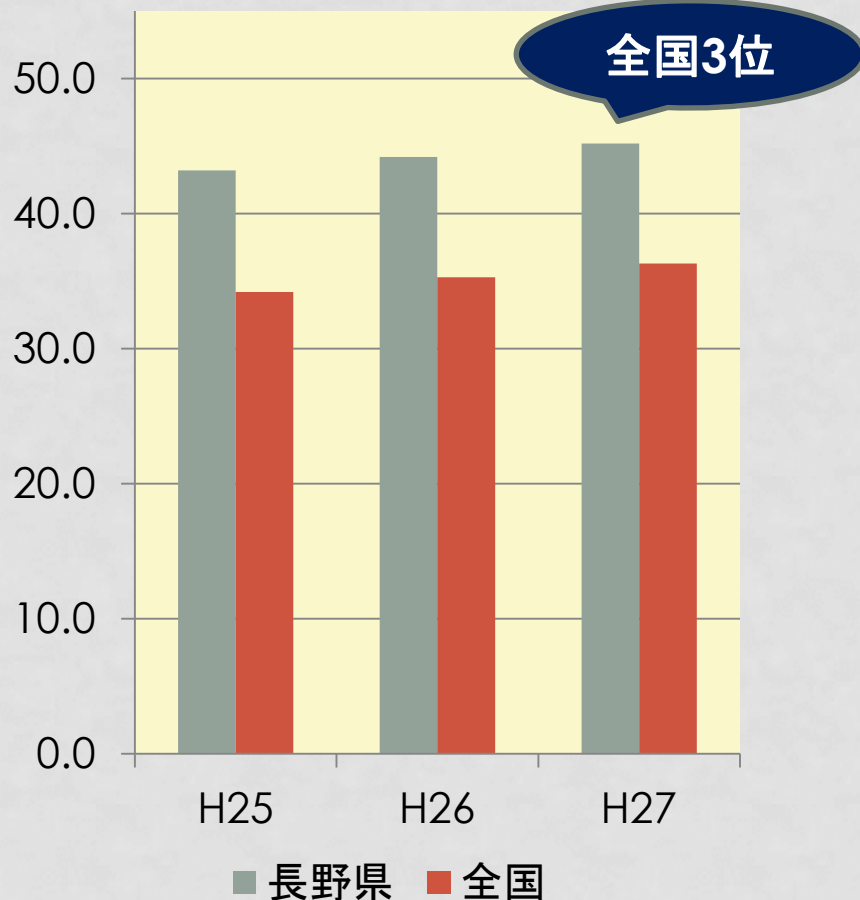
被保険者の皆様の健康づくりへの積極的な取組により、医療保険制度は成り立っています。健診の受診などのご協力をお願いします。

1 特定健康診査・特定保健指導実施率

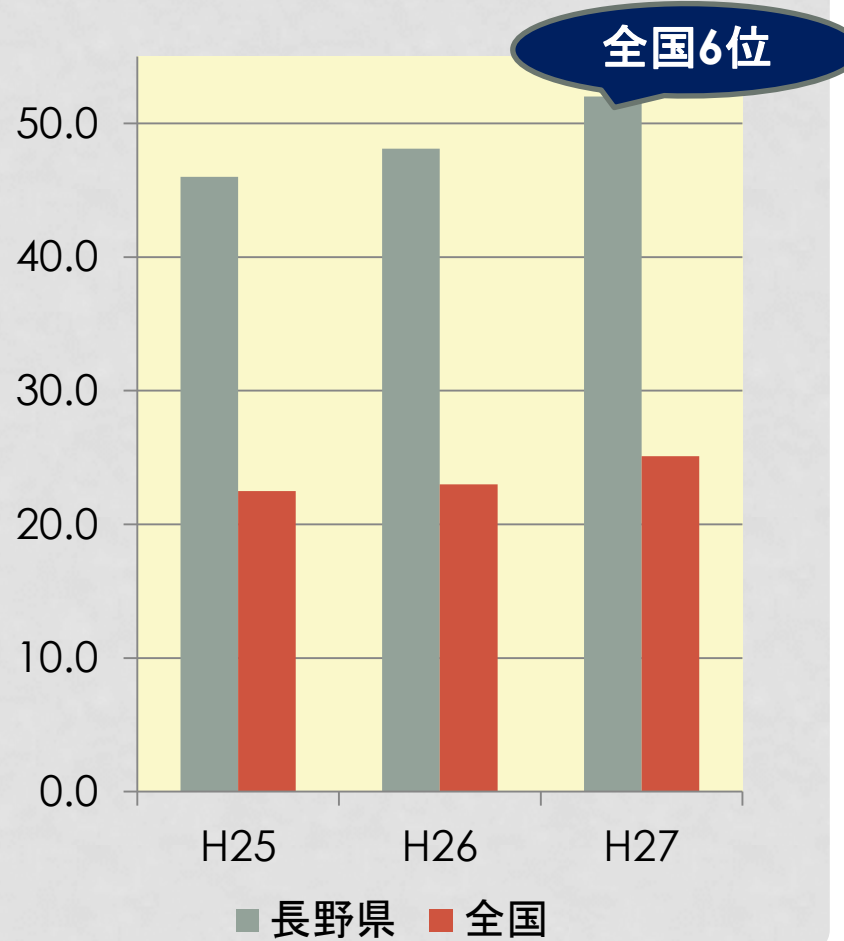
○**特定健康診査** 40歳以上の被保険者を対象に保険者が実施する、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査です。

○**特定保健指導** 特定健康診査の結果、健康の保持に努める必要があるとされた方に対して行う食事や運動習慣に関する保健指導です。

特定健康診査受診率（市町村国保）



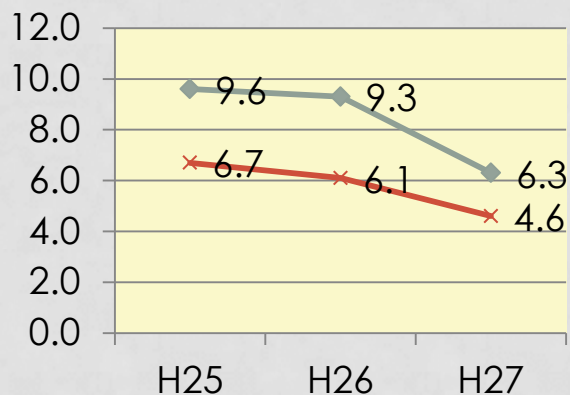
特定保健指導実施率（市町村国保）



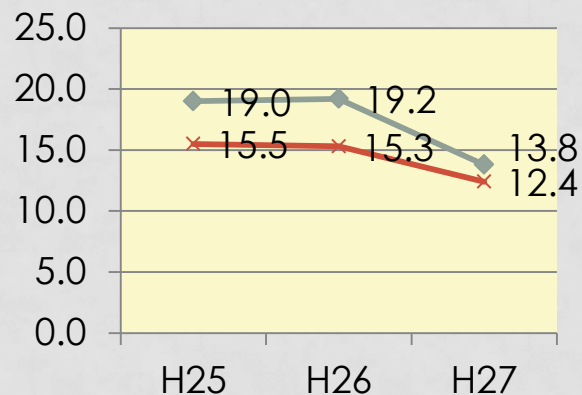
2 がん検診受診率

がん検診受診率は全国平均と比べて低くなっています。

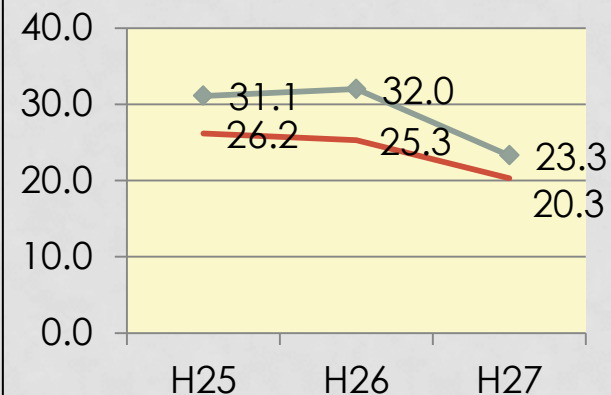
胃がん



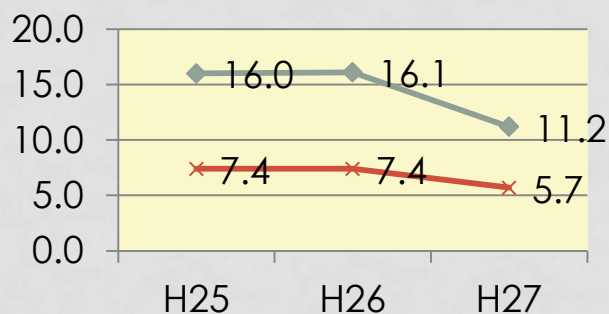
大腸がん



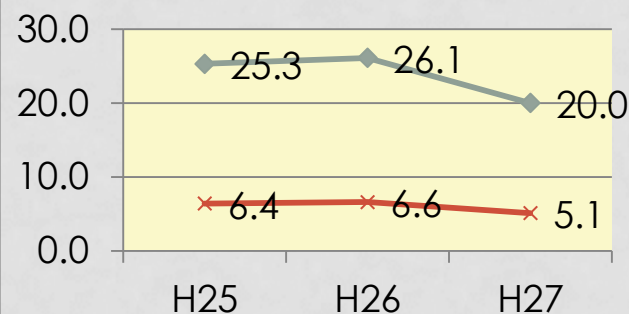
子宮頸がん



肺がん



乳がん



3 後発医薬品の使用割合

後発医薬品の使用割合は、本県国保は全国平均よりやや高くなっています。

